

2024(令和6)年度

専正寺護持会 会計・事業報告 予算書

# 専正寺護持会だより

国勢調査によると、川地地区の人口が10年間で二割減少しました。この地域の皆様に支えられる専正寺の現状も厳しいものがあります。

専正寺護持会は一昨年 of 赤字に続いて、昨年度も約5万円の赤字決算を計上することとなりました。会費収入の減少に併せて、その減少分を補填してきた本堂葬儀使用懇志がなくなっているのが大きな原因です。

一方で、本願寺派教団においては人口減に対応するため各寺院の賦課金基準の抜本的な見直しが行なわれることとなっています。

まことに心苦しいかぎですが、こうした状況を鑑みたくえて、専正寺護持会としては、一定額の会費負担増を会員の皆様をお願いすることを検討しております。

詳しくは、裏表紙を参照のうえ、皆様のご意見をぜひお聞かせいただければ幸いです。

合掌

住職拝

ポケット法話

お寺は私に

会いに行くところ

真宗大谷派  
林松寺

現在お寺の掲示板が注目されています。  
仏教伝道協会主催の「輝け！お寺の掲示板対象2023」の入賞作です。  
お寺は、単なるシンボルではなく私自身を見つめなおすきっかけとなる場所であることが示されています。



# 令和5年度護持会会計報告

令和6年3月31日

科目	収入	支出	前年実績	増減	備考
前年度繰越金	494,041		503,030	△ 8,989	
護持会会費	516,000		526,000	△ 10,000	地域常会・旅門徒
使用懇志	0		30,000	△ 30,000	
利息他	5,000		10,000	△ 5,000	志 梅木様
助成金	10,647		28,059	△ 17,412	コロナ禍のため本山
基金回金	150,000		0	150,000	
営繕費		89,000	107,500	△ 18,500	庭木剪定
事務通信費		11,560	13,896	△ 2,336	郵送料7,560円 印刷4,000円
会議費		0	0	0	
香典		30,000	28,000	2,000	15件
謝礼		4,554	4,356	198	お礼 サランラップ 常会役員へ
賦課金		356,990	359,985	△ 2,995	本山222,040円 教区127,410円 組費7,540円
保険料		83,200	83,200	0	建物共済 7000万保障
手数料		5,070	5,781	△ 711	郵便振替手数料 34件
その他		330	330	0	賦課金振込手数料
計	1,175,688	580,704			

a

b

一般会計次年度繰越金a-b

¥594,984

## 特別基金会計報告(定期預金にて管理)

	収入	支出
繰越金	963,497	
利子	574	
回金		150,000

定期額面

特別基金次年度繰り越し

¥814,071

以上、令和5年度の会計を報告いたします。

令和6年 7月 8日

会長

一 堀 光 則

会計監査を実施しました。正確に処理され適正に運用されていたことを報告いたします。

令和6年 7月 8日

監査

国 元 久 一



監査

成 清 耕 三



# 令和6年度護持会予算案

令和6年4月1日

科目	収入	支出	備考
前年度繰越金	594,984		
護持会会費	530,000		前年度514,000円 * 口数増加お願い分の金額は未計上
使用懇志	10,000		前年度0円
基金回金	0		
利息他	0		前年度志5000円
営繕費		90,000	庭木手入れなど
事務通信費		20,000	護持会便りほか
会議費		1,000	お茶代
香典		30,000	昨年度30,000円
謝礼		4,500	常会役員へサランラップなど
賦課金		356,990	本山、教区、組
保険料		83,200	建物共済(NOSAI)
手数料		6,500	郵便振替手数料
合計	1,134,984	592,190	決済用残高 542794円

## 特別基金予算

	収入	支出	残高
定期預金	814,071	0	814,071

## 2024年度役員

会長	一場光則
副会長	末国征男
副会長	末國富雄
監査	国広久一
監査	成清耕三
顧問	村竹裕弘

○護持会会費の口数増加のお願いを進めてまいります。10月26日(土)の臨時総会で議論します。  
○新会員の加入を勧奨していきます。  
○口数増加による増収が出た場合は余剰金を

## 専正寺護持会の収支状況について

専正寺護持会では、近年その収入が大きく減少してきています。

○会費収入(常会で集金いただくもの+振込)

約 60 万円(2007 年) → 約 51 万円(2023 年) 約 9 万円の減少

さらに、会費減少分を補填していた本堂の葬儀使用懇志が、コロナ禍以降無くなっています。

○使用懇志(本堂の葬儀での使用)

毎年約 8 万円(2007 - 16 年の平均) → 0 円(2023 年) 約 8 万円の減少

その結果、ここ数年は収支が赤字となっています。幸いに、宗派等のコロナ助成金によってぎりぎりのバランスは保ってきましたが、助成金終了後の 2023 年度は単年度の赤字決算となり、特別基金の取り崩しによって急をしのいでいます。

約 18 万円の黒字(2015 年収支) → 約 5 万円の赤字(2023 年収支)

専正寺護持会役員会および専正寺総代会では、このまま赤字決算が続くことを看過できないと考え、一定の負担増を会員の皆様にお願ひできないかと考えております。

これまで、専正寺門徒の皆様には宗派等賦課金負担を含めた 2 口以上(2,000 円以上)のお願ひし、その他地域有縁の皆様には専正寺護持費として 1 口以上(1,000 円以上)のお願ひをしております。現在、専正寺護持会会員数 286 戸のうち、2 口の会員が 124 戸、3 口以上の会員が 32 戸となっています。生活全般において物価上昇の影響が大きく、大変に心苦しい限りですが、特に専正寺門徒の皆様には 1 口加増の上で、3 口以上をめやすとした会費負担をお願ひできないかと考えております。

現在のめやす

専正寺門徒 2 口以上 →

地域有縁の皆様 1 口 →

目標(約 10 万円の会費増収目標)

3 口以上(1 口加増)

現状維持(有志の方はご協力を)

専正寺護持会は志和地の地に念仏の道場を護持しようとする会員の皆様の懇志によって成り立っております。改めて 10 月 26 日(土)に開催する臨時総会を経て、本年度の会費集金にあたり収支の現状を十分にご検討の上、1 口加増また現状の維持にご理解、ご賛同いただければ幸いです。

合掌

2024(令和 6)年 8 月

専正寺	護持会会長	一場光則
専正寺	門徒総代長	児玉政則
専正寺	住職	深水顕真